



S S T K

社会福祉法人 埼玉のぞみの園

法人だより No.30

領価 50円

編集人 埼玉のぞみの園法人本部 埼玉県深谷市本田3343 編集責任者 理事長 山崎勝
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 埼玉県川口市芝新町15-9アステール藤野1階



もう十年になろうとしています。忘れない東日本大震災(平成23年3月11日)。幸いにも施設への直接的な被害は無かったものの、計画停電やガソリンが買えないなど往生したものです。その時にBCPという言葉が各所で叫ばれました。

Business Continuity Plan (BCP) 事業継続計画と訳されます。

近年は何十年に一度の記録とか、大変な災害予想あるいは避難勧告など度々恐ろしい情報が発せられます。災害に強い埼玉と言えども安心もしてられません。

特に障害を持つ人達を支援する私達は、利用者・施設が甚大な被害を被ることの無いよう努めなければなりません。特に夜間及び祝祭日には職員も手薄となり、大きな自然災害が発生した場合の対応はとても脆弱です。

そこで職員に緊急時の出勤協力を仰ぎ計画を作成いたしました。基本は自宅に近い法人施設に所属とは関係なく出勤する。防災レベル2で、引き続き危険度の増す場合には防災対策本部を設置。本部の指令により職員は指定場所に急行。そして利用者の避難(春日園・春陽の里)となります。いざとなった時、計画通りに行くか心配な面もありますが、まずは職員の意識が大事と策定したところです。



(イメージ図)

法人内BCP計画作成にあたって 深谷たんぽぽ 大野 裕俊

埼玉のぞみの園

近年、台風や地震、豪雨による大規模災害が日本各地で発生しています。昨年甚大な被害をもたらした九州南部の記録的豪雨や、関東甲信地方を中心とした台風19号による災害が記憶に新しく、地球温暖化に伴った気候変動の影響等により、今後ますます大規模な災害が増えると予測されます。

そんな状況下において、法人内での事業継続計画の必要性がより高まり、今回の作成を行う事となりました。

深谷市・熊谷市のハザードマップを基に作成に重点が置かれたのは、法人内施設の支援体制の構築と各職員の行動手順、役割分担でした。また緊急時の自動参集基準(誰がどこの施設に応援に行くのか)を定め、災害警戒レベルに応じた行動がとれるよう明確にしてあります。



たけまさ ゆたか 武政 豊 (春陽の里配属)

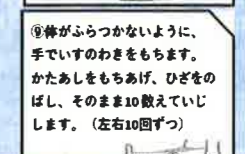
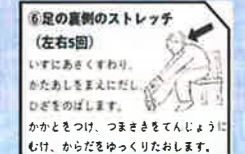
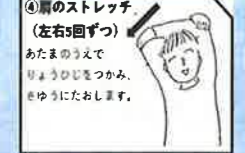
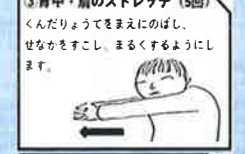
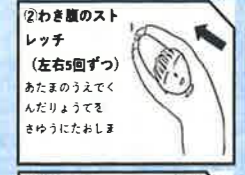
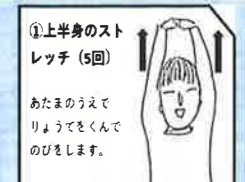
好きな言葉... 「No Rain.No Rainbow」
アメリカで働いていた時に教えてもらった言葉で、嫌なことその後にいいことがある!!その言葉を心がけて日々頑張っています。



やすの ゆうや 安野 優也 (深谷たんぽぽ配属)

好きな言葉... 「明日を信じて、今を頑張る!!」
例えば今が辛い状況であっても、明日は必ず良い日になると信じ頑張っていきたいです。

令和2年入社 埼玉のぞみの園 新任職員紹介



コロナ禍でもできる 気分転換ストレッチ

埼玉のぞみの園 理学療法士 大塚美穂(文・イラスト)

やってみてね!

- ### 後援会 ご協力者様
- 順不同・敬称略にて御容赦願います
令和2年8月5日 令和2年11月
※令和2年12月1日現在
- | | |
|-------|-------|
| 野口浩平 | 新井敏明 |
| 新井利子 | 上森テル子 |
| 森田久美子 | 野嶋康則 |
| 宮尾龍太郎 | 久保利夫 |
| 吉野教子 | 家永義朗 |
| 内田よし子 | 堤一也 |
| 小泉良子 | 北爪貞子 |
| 須賀経子 | 新門峯子 |
| 横川悦子 | |
- いつも応援いただき ありがとうございます。
※各施設にて随時受付。

- ### 法人ご寄付 ご協力者様
- 順不同・敬称略にて御容赦願います
令和2年8月5日 令和2年11月
※令和2年12月1日現在
- | |
|--------|
| 長谷川 慶子 |
| 茂呂 敏行 |
- 福祉の向上のために使用させていただきます。

埼玉のぞみの園ホームページをリニューアルしました
スマートホン・タブレット端末にも適応しています。各施設ジャンル別になっていたり、ギャラリー写真を入れて施設の日常が分かりやすくなりました。
授産製品も販売しています。絶賛公開中!! (広報編集委員 鈴木敦士)

【法人本部連絡先】 〒369-1105 埼玉県深谷市本田3343 (電話)048-594-6511 (FAX)048-594-6512
(HP)http://nozominosono.jp 埼玉のぞみの園で検索を 各事業所のブログご覧になって下さい!!

「お題」「コロナ禍で施設の運動、楽しみ方など職員に聞いてみました。」

春日園

現在、春日園では、コロナの影響による作業時間の減少、それによる生活リズムの崩れ、また外出自粛によるストレス増加などが課題として挙げられています。そんな中、少しでもご利用者のストレス解消・気分転換に繋がればと、バラ風呂や食事のテイクアウト、秋の運動会開催、紅葉狩り外出といった、新たなイベントの企画・実施を行いました。左の写真は、園内で運動会をした時の写真です。みんな大好き鯉弁当の日も開催しました。気温も下がりにコロナの感染拡大が心配されますが、今後も感染対策をしっかり行った上で、ご利用者に「楽しみ」を提供できるよう検討していきたいと思っております。

第2春日園

コロナ禍で過ごした9カ月は試行錯誤の連続で不安で新しい生活スタイルとはどうするのか課題でした。基本的な感染対策やソーシャルディスタンスで過ごす工夫もしました。提携している事業者から作業提供量も減り不安な日々もありました。感染対策は利用者にあわせ指導を行い、「食後の集い」も時々うっかりはあるものの、手作りマスクを楽しんだり、屋外で楽しむ方と過ごす形は違いますが楽しい会話が弾んでいます。手洗い、マスク着用、ソーシャルディスタンスが自然に出来るようになり、普通の生活として定着しつつあります。

深谷たんぽぽ

深谷たんぽぽにとって楽しみ提供の場といえば、今年4月より開始したミニ行事ではないでしょうか。お花見会や七夕、納涼祭など毎月企画・開催しています。利用者さんと職員だけの小さな会です。その時々状況に合わせて予定変更にも柔軟に対応できるようにしています。行事やイベント自粛が続いている現在、今ではこのミニ行事が利用者さんにとって数少ない楽しみ場となっているようです。感染対策を取りながらも、楽しい行事の開催を続けていければと思います。

妻沼つくし作業所

生活介護では、10月27日の午後の時間を使い、ハロウィンパーティーを行いました。事前に用意しておいたお菓子を様々な所に隠しておき、当日、利用者さんに探してもらい、プレゼントしました。宝探しのようで皆さん大盛り上がりでした。見つけられたお菓子を食べたり、仮装をしたり、たくさん笑顔を見ることができた時間となりました。



地域貢献活動 理事 榎澤正範



埼玉のぞみの園は今年で創立43年目を迎えました。この間、地域の皆様に支えられながら障害をお持ちの方々の福祉向上のために歩んで参りましたが、私共社会福祉法人に求められる姿勢も変化しつつあると感じています。

以前は障害者福祉に焦点を当てた活動のみであったものが、現在はより地域に目を向けた活動の必要性を感じています。それは私共の歩みは地域の中の活動であり、地域と結びついた活動でなければならぬということです。

こうした活動は他の社会福祉法人でも始まっており「子ども食堂」や「寺子屋」といった地域貢献活動がされているようです。

法人では去る10月10日に第2回目の地域清掃を行う予定でしたが、雨天のため各施設ごとの休日を利用して、周辺道路の清掃活動を実施しました。まだよちよち歩きの地域貢献ですが、少しでも地域の皆様と共に歩めるような活動に育っていければと思います。

ZOOM等の活用

深谷市障害者基幹相談支援センターうらら 大崎廣木

新型コロナウイルスの影響から、世間ではZOOM等のビデオチャットが活用されるようになり、会社や学校等、徐々に普及してきております。当法人でも、会議や委員会をZOOMで行ったり、基幹相談支援センターうららではZOOMを利用した研修会や、講師の方を録画した研修動画をYouTubeに上げたりと活用させて頂いております。春日園と春陽の里ではWi-Fi環境が整備されタブレット等を購入し、この1年で一気にオンライン環境が整いました。まだまだ不慣れなところもありますが、便利なものは活用していきたいと思っております。

埼玉県社会福祉大会 会長賞 受賞 第2春日園 藤野操 職員



この度は、令和2年度埼玉県社会福祉大会会長表彰を頂きありがとうございました。心より感謝御礼を申し上げます。この先も入職した頃の思いを忘れる事の無いようご利用者のため日々を送っていききたいと思います。

埼玉県知事表彰 受賞 第2春日園 松葉正枝 職員



埼玉のぞみの園にお世話になり、早くも25年が過ぎました。「おごることなく、らしくせよ」を自分の信念として常に行動して参りました。これまでの経験を糧に今後も精進していきます。

令和2年度 職員表彰

春陽の里

ご利用者自身が春陽の里での生活に魅力を感じていただけよう、日々試行錯誤し、行事などを行なってきました。毎月行っている誕生日会では、ピアノ未経験の利用者さんが猛練習し、ハッピーバースデーの曲を皆の前で弾き、盛り上がりました。又、8月には花火大会を行いました。中、屋外で厨房が特別に作られたスペシャル弁当を味わいました。11月は「全員外出」を目標に5日間に分け、「歩け歩け大会」「川の博物館」「近隣の公園」への外出を実施・企画しています。

